

総務委員会 (10月9日～10日)

本村では工業専用地域（部原地区）の整備が進められ、企業誘致対策が求められることから、総務委員会（村上孝委員長ほか5人）は、積極的に企業誘致に取り組んでいる長野県岡谷市と駒ヶ根市を調査視察した。両市とも職員が企業を訪問し意見とニーズを聞き取るなど精力的な事業活動を行っている。本村も産業の活性化を図る上で、積極的に行政が動くことが重要と感じた。



長野県岡谷市

文教厚生委員会 (10月7日～8日)



秋田県東成瀬村立東成瀬小学校

文教厚生委員会（岡崎悟委員長ほか6人）は、全国トップの学力を誇る秋田県東成瀬村の教育委員会を訪問。「わかるまで教える」を教育のベースに、大きな視点で、子どもたちが将来に羽ばたくための教育を進めていた。

翌日には、秋田県湯沢市を訪問し、地域包括ケアシステムに関する調査を行った。マンパワー不足の現状を乗り越えるため、地元の高校を活用した人材育成の取り組みが進められていた。

建設農政委員会 (11月6日～7日)

建設農政委員会（舛井文夫委員長ほか5人）は、直売所の運営状況を調査するため、JA 邑楽館林農産物直売所「おうぼんぼこ」（群馬県館林市）、道の駅おのこ（同県渋川市）などを視察した。①午後のお荷物の確保のための出荷者への電話依頼②出荷と同時の前日売れ残り品の持ち帰り③客への元気な声掛け④商品の調理方法や小さなPR旗設置などをしていった。視察結果を参考にするとともに、生産者に喜んで出荷してもらうことが客の満足度につながると感じた。



JA 邑楽館林農産物直売所「おうぼんぼこ」

議会活性化特別委員会 (11月13日)



会津若松市議会を訪問した委員

議会活性化特別委員会（飛田静幸委員長ほか8人）は、議会活性化に先進的に取り組んでいる会津若松市議会を訪問。会津若松市議会は、2度の合併を踏まえ正副議長選挙の公約を契機として、議会改革に取り組み、議会基本条例と政治倫理条例を制定した。これら条例をツールに、議員が会派の枠を超えて市民との地区別・分野別の意見交換会を数多く実施している。時間と労力をかけ住民の意見を政策として練り上げることが、議会への信頼につながると感じた。